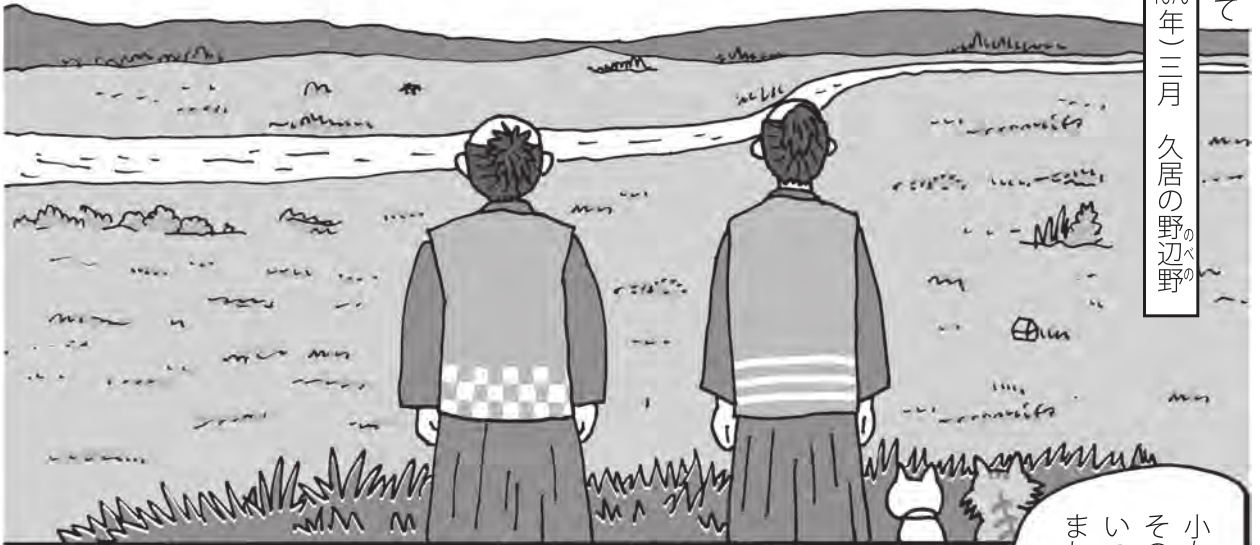


場所は変わって

寛文十年（1670年）三月 久居の野の辺の野



小左衛門よ、
その猫は、
いつもお前の
まわりにいるな。

筆頭家老
藤堂源助

そつなの
です。

江戸からの道中で
気付いたのですが、
実は殿と奥方様の
お気に入り
猫達なので、
捨てる訳にも
いかず。

重宝
お宝



今では情も湧いて
きましたが。
はは。
それよりも、
この地に町を
造るのでしょうか。

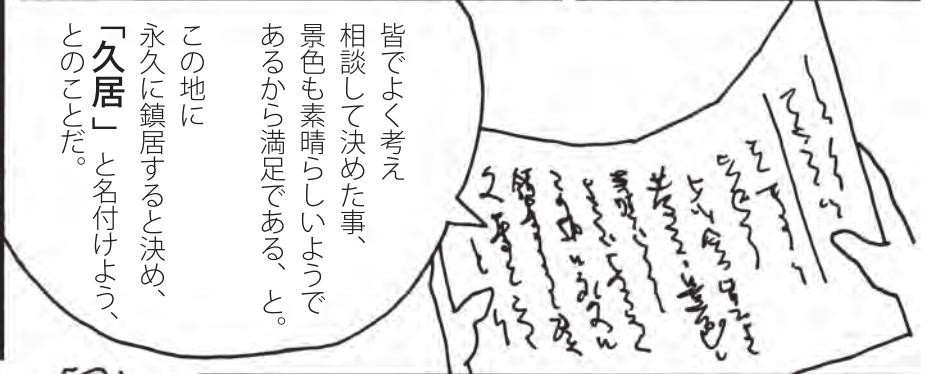
本家からあまり
離れていない平らな
高台というと、
高茶屋の小森山も
候補には
挙がったが、
やはり
この景色が
殿には気に入って
いただけるのでは
ないかな。

くもすかわ
雲出川が
よく見えます。
なるほど、
良い景色じゃ。

殿も一句
詠まれるで
しょうなあ

殿は
歌が
好き
なのか？







向こうの方に見える村に
八幡神社があるんだけど、
この後、城下町が造られる時
に引っ越しするんよ。
現代の久居八幡宮だわね。

何で
引っ越しの？



八幡さんは武士の
守り神だからね。
昔はお城から見て
鬼門、つまり
北東の方角に
お寺や神社を
建てたんよ。

おばあちゃん、
スゴいじゃん。
何でも知ってる
やん。



さーて、
町造りが
本格的に
始まるよ。
どんどん
人が集まって
賑やかに
なるよ
きつと。



すっごい。

どれくらいの
人が来るのかな。

確か延べ
4万3千4百人位の
人々が働いて、
この何にもない原野を
切り拓くんよ。
本家からも沢山の応援が
来てくれたんよ。

わくわく
するう！

さすがお兄さん。
頼りになるう！

おばあちゃん、
勝手に一人で
動かんといて
な。

寛文十年（1670）八月

西野小左衛門が植木升安を呼び出した



植木殿、
町の
設計図の
事だが…

先ほど
本家から使いが来て、
どうやら書き直しと
なってしまった
らしいのだ。

植木升安

幕府からの指示
でしょうか。

あれは私の力作の
城下町構想だったんですが、
あまりに欲張り過ぎましたか。

そのようだな。
大名の築城は
幕府にとつては
一大事だからな。
確か、堀は
武家屋敷全体を
取り囲む総構え
だったな。

他にも、
※櫓や※馬出、
※太平の世に
そのような防備は
不要だと。

仕方ありませんね。
謀反の疑いを
かけられても
いけませんから。

そつだとも。
すまんが
早急に
書き直して
欲しい。

※櫓…城郭内に防御や監視のために建てられた建築物。
武器庫としても使われた。

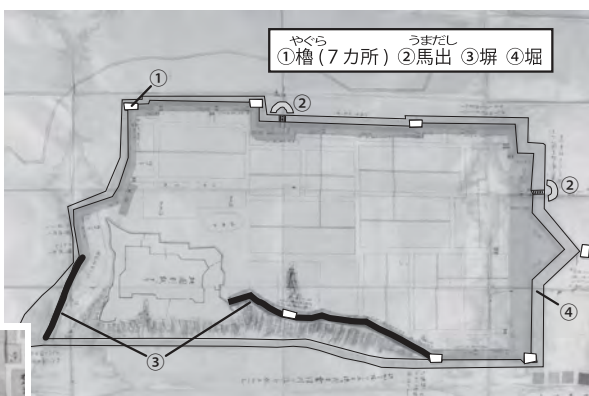
※馬出…防御力を高める目的で城門外に土塁や石垣などで
つくっている小さな空間。



コラム5

幻の久居城

城下町を建設するための最初の設計図は、軍事色が濃かったため幕府の許可が下りませんでした。津市久居ふるさと文学館には、書き直しの過程とみられる設計図（写真「久居外構要害図」）が所蔵されており、植木升安による当初の城下町構想を垣間見ることができます。



↑ 当初の設計
（津市久居ふるさと文学館所蔵「久居外構要害図」より）

①、②、③がなくなり、④は堀ではなく、細い水路に変更となりました。

← 完成後の城下町
（個人蔵「久居城下図」より）

そして

二ヶ月後ー



植木殿、
城下町の
設計図の
許可が
下りたぞ。

そうですか。
やれやれ。
書き直しのお陰で
遅れてしまいましたが
これでやっと
工事に着手できますな。

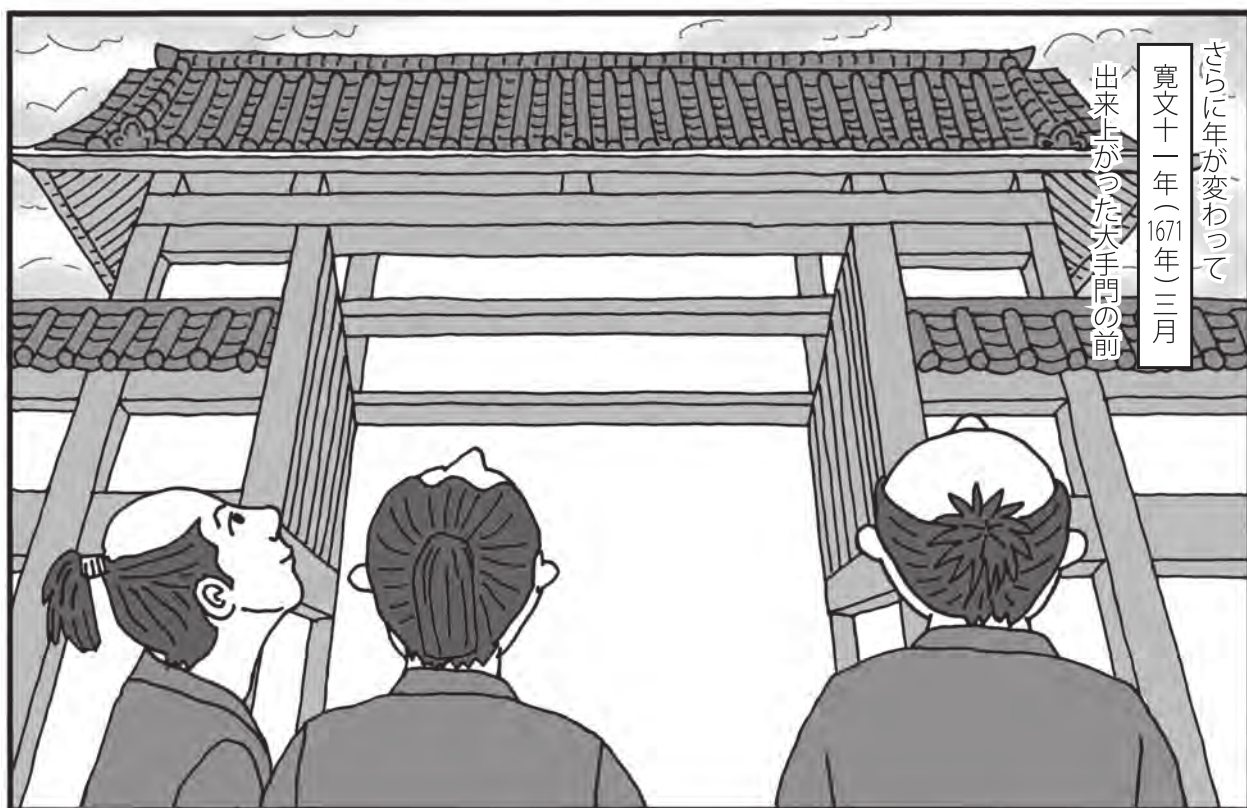
はい！

早速取り
掛かって
くれ。



長過ぎやん？
書き直した図面を
江戸に持ってって、
返事も江戸から
使いの人が持って
来るんやもんね。
あたしたちなら
メールで
さっと送る
だけやんね。

大変やねえ、
けど、
やっと御殿が
建つやね〜



さらに年が変わって

寛文十一年（1671年）三月

出来上がった大手門の前

